



冬号



発行：グループホーム あしび

住所：474-0071 大府市梶田町二丁目 98 番地

Tel・Fax： 0562-44-8204

E-mail：ashibi@kyowa.or.jp

こんにちは！日ごとに寒さがつのってきたこの頃、みなさんはいかがお過ごしでしょうか。
先号からの7ヶ月間であしびにもさまざまなことがありました。コロナが第5類になったということもあり、関連の共和病院では7月に盆踊り、10月にてんてん祭りといったイベントが開催され、あしびも踊りに参加し、てんてん祭りではスタンプラリーを催しました。それとこの上半期（前期）にあった大きな出来事と言えば8月にあしびでコロナが蔓延したことです。それらの詳しくは今号に掲載してありますのでぜひ目を通していただきたいです。

過ぎてしまえば思い出話になりますが、当時はいろいろ考えさせられました。今でも何が正解なのか分からないことも多々ありますが、あしびは入居者とご家族と職員とが一丸となり皆にとってより良い生活とは何か、と日々考えながらやっていきたいと思っています。ご意見は遠慮なくいつでも教えてください。皆であしびをつくって行きましょう！これからもどうぞよろしく願いいたします。

グループホームあしび 管理者 朝倉起己

イベント情報

☆8月から「おでかけあしび」

プログラムを新たに開始しました☆

「おでかけあしび」とは、隔週で行っているあしびミーティングの日のランチは外食（入居者さん負担なし）に行く企画です。

ひらがな名にした理由は、気楽にテイナイトに参加してランチに行っちゃえ！って乗りからです。(^^)

テイナイトに参加して生活のリズムを整え、外出や外食を通じて、今後の地域生活のイメージができるように等を目的としました。

8月は長楽（中華料理）・9月11日マクドナルド・25日お好み焼きでした。

「何十年ぶりにハンバーガー食べたけど美味しかったわ〜。」「今度は〇〇へ行こうね。」と笑顔で感想を言っただけです！

これからも皆で楽しみましょう(^^)/



あしび防災訓練

7月25日（火）に夜間火災を想定した防災訓練を行いました。

あしびでは4月から職員の配置が変わった事もあり、これまで行なってきた訓練内容（通報や避難、点呼等）も変更となりました。

初めてのことが多いので打ち合わせを繰り返しながら緊張して当日を迎えました。（担当職員は自宅のお風呂で何度も脳内シュミレーションおこないました）

当日は利用者さんも職員も良い緊張感をもって行う事が出来ました！！

日頃より火災を起こさないよう気を付けることは大切ですが、起きた時にどう動くか、訓練を繰り返しながら身に付けていきたと思います！！

これから空気が乾燥する時期になるので皆さまも火の用心を！！



てんてん祭り

てんてん祭りが7年ぶりに開催されました。あしびは、くじ引き付スタンプラリーを行いました。今回は、利用者さんにも接客を行っていただきました。初めての試みで、戸惑う利用者さんもありましたが、お客さんに積極的に声をかけたり、説明したり、みんなが笑顔で全員が参加することができました。翌週には慰労会を行い、そこではみんな感想などを話し、楽しかったという声が多かったことがとても良かったと思います。



↑スタンプラリー用紙



↑スタンプラリー景品

布団クリーニング・マットレス交換

9月26日にマットレス交換を行い、布団クリーニングは4週に分けて行いました。使用していたマットレス・布団は入居者様ご自身で部屋の前に出していただき、業者さんが回収します。スタッフが新しいものを手分けして運び、部屋の前に置き利用者様ご自身でセットされました。ぐっすり眠れるといいですね！！

今年の夏を振り返る…

今夏にあしびでコロナが蔓延しました

あしびで最初のコロナが発生したのは8月18日(金)でした。その後はあれよあれよと広がっていき入居者17名中15名が感染し、いわゆるクラスター状態となりました。幸いなことに2週間足らずの8月30日(水)に収束し、その後はいつも通りの平穏な日々に戻りましたが…、今夏のあしびコロナ禍を振り返りたいと思います。

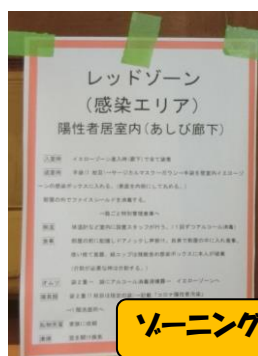
まず対策したのはゾーニングです。あしび内をいわゆるグリーンゾーン(清潔)、イエローゾーン(注意/準感染エリア)、レッドゾーン(立入禁止/感染エリア)に分け、入居者さんと職員の行動範囲を決めました。イエローゾーンとレッドゾーンでは職員は防護服(マスク、手袋、ガウン、フェイスシールド)を着用し、コロナ陽性入居者さんのケアに取り組みました。入居者さんも極力居室で過ごしていただいたのでその間はストレスが溜まったことと思います。陽性の方は食事を居室で摂っていただくこととし、居室の前での受け渡し、食器は使い捨ての物を使用しました。また夜間は宿直体制では十分なケアが出来ないため、臨時で夜勤体制をとりました(8月21日~30日)。職員にもコロナ陽性者や体調不良者が出ましたが、協力し合って何とか取り組みました。そんな中、入居者のご家族や病院職員から栄養ドリンク等の差し入れや、体調管理に必須の体温計やパルスオキシメーター、ナースコール、それに加え、普段は私服での勤務ですがコロナ禍の間は無償で制服を貸してもらえ、物品をはじめとした様々な応援がありがたかったです。こういう困った時に助けていただけるとは心強く、多くの方があしびのことを気にかける言葉をくださって本当に嬉しかったです。

入居者さんたちからは「症状はいつ治まるだろうか」「周りに拡げていないだろうか」「コロナになったらどうすることも出来ないのでは日頃からの対策が必要だと思った」等の声がありました。

あしびは共同生活の場です。家族のように一つ屋根の下で過ごすわけですから誰か一人が感染したら全員に感染してしまうことは覚悟をしないとイケないかもしれません。だからこそそれぞれが予防に対する自覚をもって過ごすことが大切だと改めて実感しました。これからはインフルエンザも流行する季節です。入居者さんも職員もそれぞれ緊張感をもって感染予防をしていきたいと思っています。



利用者さんの体調確認を行う様子



ゾーニング



食事配膳風景